

**日中の覚醒を促し利用者同士の
の交流を増やす。**

～良い関係性を目指して～

**グループホーム グレイスフル岡
谷**

発表者：原 悠太

PC操作：原 悠太



事業所紹介

- 1ユニット利用者様9名で女性のみ。
- 年齢は、若い方は70歳、高齢の方は97歳と幅広く、平均年齢は87.7歳。
- 平均介護度は2.11。
- 家事支援や個別の趣味や特技を活かした活動を提供しており、元気な方が多い事業所である。



対象利用者様

- 82歳 女性。要介護度：2
- 日常生活自立度：A1 認知症の日常生活自立度：II b
- 認知症の種類：アルツハイマー型認知症
- 家事やレクリエーションには積極的に参加して下さる方ではあるが、それらの活動が終われば居室に戻られてベッドで休まれてしまい、日中の他利用者様との交流が少ない状態である。



取り組んだ課題

- 日中の他利用者様との交流が少ない状態である。自立度が高く、コミュニケーションも十分に取れる方である為、居室で過ごしているだけでなく、少しでも日中の覚醒を促し、他利用者様との交流を増やし良い関係性を築き、楽しく生活していただくことを目的として取り組みを行った。

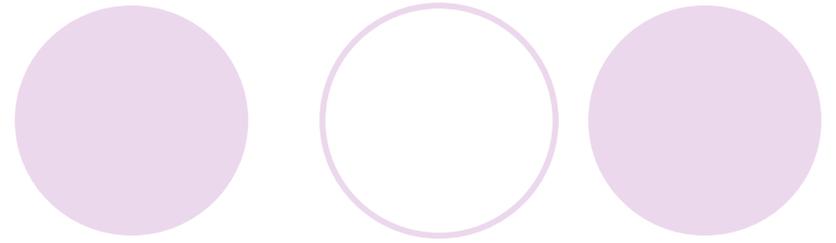


具体的な取り組み

- **プロフィール表の確認やご本人様への聞き取りを行い趣味や、やってみたいことの確認を行う。**
- **10月1日～10月31日まで、朝食後・間食後の休む時間を考え、約1時間後の10時～11時、16時～17時の間は、職員から声をかけ、他利用者様が行っているアクティビティに参加を促し、フロア内で過ごしていただく。**



具体的な取り組み



- **9月(取り組み前)と10月の10時~11時、16時~17時の覚醒の有無を確認し比較を行う。**
- **9月末と10月末でMMSEを行い、点数の比較を行う。**



活動の成果と問題点

- プロフィール表には、趣味などの情報がない
為、ご本人様へ、やってみたいことなどあるか
聞き取りを行うも、本人様から具体的な内容
が聞き取れず把握ができなかった。



活動の成果と問題点



活動の成果と問題点

	10時の 覚醒	11時の 覚醒	午前 の 合計	16時の 覚醒	17時の 覚醒	午後 の 合計
9月	11回	15回	26回	12回	10回	22回
10月	11回	17回	28回	14回	12回	26回
		+2回			+4回	

- フロアまたは居室で起きていれば覚醒とする。



活動の成果と問題点

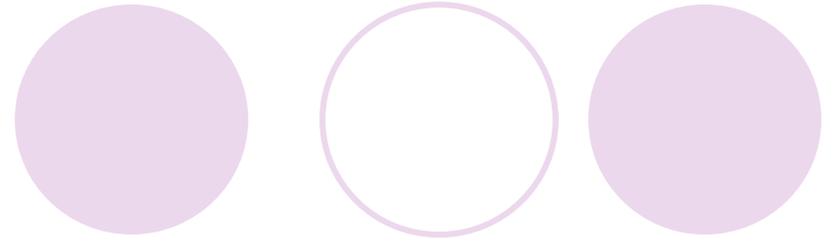
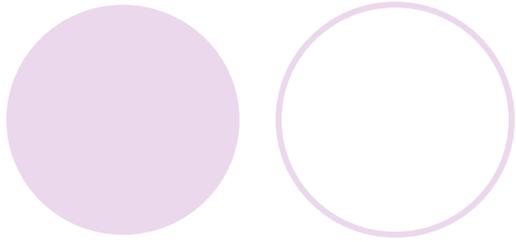
- MMSEでは、9月末:23点、10月末:26点となり、時間・場所の見当識の項目(日にち、現在の場所、地方)が少しではあるが数値が上がった。



今後の課題

- **花札やトランプ以外のアクティビティを提供し、その反応からご本人様の楽しみとなる内容を知り、ご本人様が積極的に行っていただけるアクティビティを考えていく必要があると感じた。**
- **今回関わりを持った利用者様以外の方も交え、交流の幅を広げていくことも必要だと感じた。**





ご清聴ありがとうございました。

